夏休み親子わくわく自然体験

草刈りに汗、マスをほお張る

地域と親子の絆を深める

「夏休み親子わくわく自然体験」が、8月1日、十二所果樹園などで開かれた。鎌倉青年会議所（宮本泰三理事長）主催。同果樹園を買収し保存している鎌倉風致保存会が協力した。

午前9時、Tシャツに半ズボン姿やデイパックを背負ったパパやママに手を引かれた子どもたちが次々集まり、百人ほどの親子が参加した。

宮本泰三理事長は「親子の絆を深めることで、子どもたちが地域や両親に見守られている安心感を認識し、他人を思いやる心を育ててほしい」と催しの思いを語った。

主催者や保存会のあいさつの後「水分補給を忘れないで」など注意を受け、4班に分かれ、カマや刈り込みバサミを手に草が生い茂る栗林などに入った。「いつも草の成長に追いかけられています」という保存会スタッフの言葉どおり子どもの背丈ほどある下草を1時間ほどかけて刈り取った。

昼食後のマスのつかみ捕りは、素手では無理とあきらめた子どもたちが、網を使って挑戦し20㌢ほどのマスをすくった＝写真。

母親と参加した高田木葉（このは）君（小1）は「2匹捕まえたよ。焼いた魚はしょっぱかったけどおいしかった」と感激していた。

森功一同実行委員長は「鎌倉の自然を愛し、鎌倉を好きになってほしい」と結んだ。（K）

ひと

浄智寺で書展を開く現代書家

萌春留加（もえはるか）さん

晩餐会の自作の書の前で＝モナコで

「昨年の外国行きが自分を見つめなおすきっかけとなった。生まれ故郷の鎌倉で個展を開こうと思った」

9月18日から26日まで北鎌倉の浄智寺の茶室で個展を開く。

「人はどう生きるべきかを見つめたい」

テーマは「般若心経」。決めるのに3カ月ほどかかった。

「長い歴史の中で般若心経は人々の痛みを和らげてきたのではないか」

262文字の中に自分なりの般若心経を表現する。

本名は菊地香。5歳のとき、親に書道塾に通わせてもらった。作品が学校の先生にほめられ、よく見本にといわれて書いた。

英国の大学に留学中、日本の伝統文化のすばらしさを再認識し、帰国後、北鎌倉の小尾草川さんに師事した。24歳で師範の資格をとり、名前に草川師匠の町春草さんの「春」をもらい、「萌春留加」にした。「萌」は自分の好きな文字。日本書展の現代書の部で入選。

はじめて外国で開いた個展はパリ。それがきっかけで、毎年秋にパリで開催される世界最大のチョコレートの祭典「サロン・ド・ショコラ」で、04年にチョコレートで書を書くパフォーマンスをした。

その後も06年ベルギー王室御用達チョコレート「ガレー」のパッケージデザインをしたり、07年フランス料理界の鬼才、アラン・デュカスと辻調理学校によるフレンチデザインなどしている。

昨年はモナコでの市川団十郎、海老蔵の歌舞伎公演での晩餐会の入り口の装飾の書とメニューのデザインを引き受けた。

「外国ではテーマのないものは受け入れてもらえない」

入り口の書は「雅」。メニューにはシェフ・アラン・デュカス氏の頭文字「A」と銀座・久兵衛の店名の「久」を書いた。

「両シェフの料理への想いを五感で感じて書にした」

メニュー70枚と署袋140枚を手書きした。

「生きていてよかったと思った。アーチストとして認められた気がした」

5日間モナコに滞在し、歌舞伎鑑賞など手厚い待遇を受けた。

「硯は兄が中学のとき使っていたもののおドがり、筆は百円ショップのものが意外と書きやすい。紙はフランスの版画紙を使ってみたり…」と、屈託がない。

今泉台在住。兄二人の末っ子。（C）

ゆかた姿で東京音頭

子どもとお年寄りが交流

「ちょちょんがちょん」の掛け声と太鼓の音にあわせて、東京音頭や炭坑節を楽しむ人たち＝写真。

8月7日、鎌倉市材木座の名越やすらぎセンターの大広間で盆踊りを楽しむ交流会が開かれた。

市内山ノ内在住の新日舞観月流家元の観月紀子（みつきこ）さんと観月さん主宰の「美雪会」の児童らがゆかた姿で参加し、集まった市民ら約20人といっしょに踊った。

お盆に地域で開かれる盆踊り大会に備えて踊りを習う人もあり、額に汗を滲ませながらもみな笑顔があふれていた。

「美雪会」は観月さんの自宅や今泉公会堂で歌謡曲や民謡、詩吟にあわせて舞踊などを練習している。3歳から60代までの会員が、ボランティアで施設や病院など訪れ、踊りを披露している。

観月さんは「礼儀作法や着物の着付けが身につくだけでなく、踊りの楽しさを伝えています。ご高齢の方もいっしょに身体を動かして元気に参加しています」と話している。

9月4日午前10時30分、レイ・ウエル鎌倉で「美雪会」の練習風景が見られる。入場自由。問い合わせ観月方☎23・9586

人気集めた福祉朝顔市

丹精込めた800鉢、2日で完売

白、青、ピンク系など色とりどりの鉢植えの朝顔が並ぶ。鎌倉宮で8月1、2日「かまくら福祉の朝顔市」が行われ、人気を呼んだ＝写真。

地域と結びついた福祉活動の一つとして鎌倉市内の福祉施設や鎌倉朝顔会（守屋雅司会長）が05年から取り組み、6年目になる。毎年楽しみにしている人も多く、すっかり地域にとけこんだ行事になった。

5月に種まきをした朝顔は、福祉施設のお年寄りなどが丹精込めて育て、約8百鉢が出品された。

1鉢2千円ほどで売られ、2日間で完売した。涼しげな竹かご入りの鉢植えもあった。純益は参加の福祉施設などに還元されている。

「この朝顔でこの夏もいやされる」と話す人もいた。

酷暑忘れるぼんぼり祭

鶴岡八幡宮

鎌倉・鶴岡八幡宮の「ぼんぼり祭」が8月6日から9日まで行われ、ぼんぼり389個が境内参道に飾られた＝写真。

1938年に鎌倉の文化に親しんでもらうよう、鎌倉在住の名士などの協力を得て始められ、72回目。

市内在住の小泉浮作さん、大津英敏さんら画家やゆかりの著名人らの書画がぼんぼりに仕立てられた。

サッカー日本代表の岡田武史監督は「ベスト4かなわずも夢かなう」の書を、漫画家・土田直敏さんは井上ひさしさんを追悼し似顔絵を描いた。今年3月に倒壊したご神木の大イチョウを描いたものも目立った。

夕方6時半ごろからぼんぼりにローソクの火がともされ、暗がりに浮かびあがった。ゆかた姿の人や子ども連れなど、酷暑を忘れて見物していた。

〝中学生議員〟おくせず論戦

市子ども議会

鎌倉市政への関心を高めてもらうため行われている第10回「かまくら子ども市議会」が8月5日、鎌倉市議会本会議場で行われた＝写真。

市内の国立・公立・私立の中学10校から合わせて19人が参加し、松尾崇市長らとおくせず論戦した。中学生の議員たちは世界遺産への登録、ごみ処理問題など身近な話題を幅広く質問した。

松尾市長は市政への取り組みなど中学生議員の質問に、分かりやすい表現で、ていねいに答えていた。

中学生議員たちは「市政のことが少し分かった気がした。この経験を、これからの活動に生かしていきたい」などと話していた。

鎌倉朝日新聞社
広告をお待ちしています
地域の活性化のためにも
TEL 0467(24)8553
FAX 0467(23)1205

迅速と、サービスと
東京陸運局認定・ニッサンサービス・J・A・F指定
㈲川島自動車整備工場
大町4－1－35（名越踏切手前）電話 0467(25)3223

骨董・古美術 龍潭（りょうたん）
古伊万里、漆器等、多数揃えております
茶道具、古美術品、骨董品、着物等
買い受けいたします
●アルバイト募集●詳細はご連絡下さい
〒248-0002 神奈川県鎌倉市二階堂19（天神前バス停 徒歩2分）
☎0467-24-7035

訪問診療・往診
医）湘南友和会
さとうクリニック
認知症対応　在宅リハビリ
在宅医療処置　癌末期管理
在宅看取り　緊急時病院連携
〒247-0061 鎌倉市台5-8-29
TEL 0467-43-5220

内科・婦人科・整形外科・脳外科
眼科（手術）・リハビリテーション科
放射線科・人間ドック・検診
救急指定・訪問医療
《看護師募集中》
"誠実・親切"な診療に努める
清川病院
鎌倉市小町2-13-7（若宮大路段葛通り）
☎0467-24-1200
隣接地に介護老人保健施設
「かまくらしるばーほーむ」☎0467-22-0013

ゆみ中医漢方クリニック
漢方婦人科・漢方皮膚科
漢方思春期婦人科
漢方不妊治療婦人科
逗子市小坪1－18－4
TEL／0467-22-9184
http://www5e.biglobe.ne.jp/~yumicyui/
診療時間
午前：9:00～11:30（火～土）
午後：14:00～16:30（火・木・土）
予約制・各種健保扱・自費診療有

漢方診療
外科・内科
●診療時間　午前 9:00～12:00
午後 15:00～18:00
●休診　日曜・木曜・祝日
水曜午後（定期往診）
鎌倉・常盤の
田中医院
院長 田中迪夫
鎌倉市常盤648 ☎0467(32)1315